

「住みよいまちづくり」に向けた集い
令和元年度第3回定例会（第15回）報告

日 時 令和元年8月18日（日）午前10時～正午
場 所 多摩の里 けやき園1階 地域交流スペース
参 加 者 26人
〈地区住民19名〉
〈関係者4名〉多摩の里けやき園1、市福祉総務課1、市防災防犯課1
西部地域包括支援センター1
〈社協3名〉大櫛主査、岡野主査、江連

配布資料（1）次第（裏面：秋まつり・防災訓練 役割分担）
（2）秋まつり・防災訓練 実施内容 レイアウト
（3）平成30年11月18日（日）秋まつり 会場レイアウト
（4）まちを歩いて防災マップをつくろう！！
（5）朝日新聞記事 避難 誰も取り残さない
（6）出席者アンケート

1 挨拶

2 自己紹介／困りごと・気になること・取り組んでいることの共有

- 「お茶会（第三火曜日午後2時～4時、弥生台自治会集会所）」を開催している。小平、東久留米どちらでも構わないので来られる方は茶話会に参加して頂き、お茶を飲みながらおしゃべりをしてゲーム等を楽しむ、月1回の会なので皆さんご参加お願いします。
- 「歌声喫茶サロンやよい（第二木曜日午後2時～4時、けやき園）」をやっている。地域の方の顔が分かるように皆で助け合って協力し合っていきたい。
- AEDのレンタルができないか知りたい。
- まだわからない事ばかりなので、これから皆さんと一緒にまちづくりの為に考えて行きたいと思う。
- 昨年からの会に参加している。自分にできることを協力してやっていきたいと思う。
- 昨年の秋まつりは子ども達に好評だったそうで、今年もぜひということで、今皆で一生懸命取り組んでいる。
- さまざまなボランティアをしているが、自分が住んでいる東久留米の為に何かできないかと考え、今回初めて参加した。
- 「サロンやよい」では暑い中、先月よりも多くの人達にお集まりいただき嬉しい限り。この様な取り組みは本当に大切だと思う。
- 今年の秋まつりも、子ども達を誘って皆で一生懸命行いたいと思う。
- 「サロンやよい」や茶話会など、様々な活動に地域の方が参加され楽しく過ごしているようだが、参加者はほぼ女性。男性にももっと参加して欲しい。資料「イケメン厨房（第一土曜日午前10時～午後1時、西部地域センター調理室）は男性のための料理教室。ぜひ参加して欲しい。

- 「サロンやよい」を7月9日から始めて、参加者が大体30名、8月8日は40名とたくさんの方にご参加いただきました。初日は男性が1名、2回目は3名、尺八をする人、ギターとピアノを弾く男性も来てくれた。皆で歌を歌いたい、演奏をしたいという人がいたらぜひ声をかけていただきたい。社協や場所を提供して下さっているけやき園のご協力によりこれだけの人数が集まったと思う。これからも長く地域の人達と楽しみたい。昔の歌を歌って最後に体操もするので、ぜひたくさんの人に来てもらいたい。
 - 「サロンやよい」などに参加して、あまりお会いできない地域の人達と初めて会うという経験をずっとさせてもらい、とても良いと思う。参加された方が笑顔で帰るという体験を毎回していますが、ずっと続けていけたら良いなと思う。また協力をしてくれる方がもっと増えたら良いなと思う。
 - 3年前から妻がこちらの施設に入っている。施設長や介護して下さる方々に大変お世話になっている。この場でお礼申し上げたい。弥生地区の住みよいまちづくりの会には進んで参加していきたいと思う。
 - サラリーマンを辞めて東久留米の第五小学校で用務員をやっている。東久留米は本当に良いところだと実感している。「サロンやよい」には参加してみたいが勇気が出ない。もう少し勇気が出たら参加したい。
 - 最初にこの集いに参加した際、新青梅街道沿いの歩道橋の老朽化を指摘したところ、どのような経緯で実現したのかは知らないが、新青梅街道の歩道橋が新しくなっていた。雨の日は滑って危ないと思っていた階段に滑り止めが付いていた。ここで発言しただけで早急に対応してもらったことに驚いている。
- 井上さん（市防災防犯課）：以前から老朽化の問題は出ていた。現在歩道橋は市内に4～5カ所。もともと子どもが多かった時代に学童の安全の為につくった。いずれもかなりの老朽化が進んでいる為、順次建て替えなければならない。子どもは減少しているが、災害時の避難の際に使用する目的があれば直さなければならないと現在方針を決めているところである。前回学校の話も出たが、学校も当時子どもたちがあふれていた昭和50年代につくられたのがほとんどで、現在は老朽化が進み、災害時には使いにくい。また、車いすの問題で避難所としては大変だという事になってくると修繕が必要となる。歩道橋はそれらの問題の一つで、この会で声が上がったから慌てて修理した訳ではない。

3 前回のふりかえり

- 事務局：先日あるテレビ番組で東久留米が取り上げられ放映されたが観た人はいるか。
- お水がこんなに綺麗だと思わなかったのが嬉しくなった。
 - 田舎と変わらないところもたくさんあった。
 - テレビ番組に取り上げられる際、市に連絡無ないのか。
- 明日さん（市福祉総務課）広報などには事前に知らせがあったようだが、市役所の職員も一週間前に案内があり知った。

4 協議・検討

(1) 秋まつり・防災訓練

事務局：今年は秋まつりと防災訓練を一緒にやることが決まっている。開催は 11 月 17 日（日）。今回話し合う内容は具体的な内容とレイアウト。これまでの意見などをまとめた資料をご参考ください。広報の関係上、どんな出し物をやるかを今回は決めていただきたい。

次に、災害時に配慮が必要な方への支援訓練について。重度の心身障がいがあるご家庭やお一人では避難が難しそうな方など、ご近所で見かけている方もいます。訓練として、直ちに避難所に行くのではなく、まずはご近所同士で安全な場所に一旦集まることも大切な訓練になる。配慮が必要な方々にどのような協力ができるのかも話し合っていたきたい。

【資料：秋まつり・防災訓練 実施内容 レイアウトを参照】

去年は、午後 2 時～4 時に開催したが変更するかどうか。参加費をどうするか。去年は来場者から 100 円をいただきスタンプカードを渡す。そのスタンプカードで会場をまわり、帰りに駄菓子セット 100 円相当分を渡すというかたちをとった。結果、120 個用意するも不足してしまった。また、上履き持参という案内をしていなかったため、子ども達も危ないのできちんとチラシ等に記載が必要。折り紙を折るコーナーが狭かった。飲食は、飲み物を弥生台自治会の負担だが途中足りなくなり購入している。来場者から、フランクフルトだけでなくポテトもあったら良かったという声あり。盆踊りを最後に皆で踊ろうとしたが、始まる前に帰ってしまった人がたくさんいた。また、来場者からのアンケートではヨーヨー釣りや竹とんぼ、竹馬などあれば良かったとのこと。去年の内容を参考に各グループで話し合いをお願いします。

①実施時間・実施内容・レイアウト

第 1 班：

飲食は、キャベツを切るなどの下準備ができれば「焼きそば」もできるのではないか。「フライドポテト」は事前に電子レンジなどで温めておけば可能ではないか。

「だるまさんが転んだ」も良いのではないか。段ボールや牛乳パックを使った手作りの「金魚すくい」は、水も必要ないし手軽で良いのではないか。

第 2 班：

「駄菓子セット」は、去年 120 個で足りないという事だったので今年は 150 個は作りたい。予算は去年と変わらないと思うので、量を増やすなら一つひとつの単価を下げるしかないのでは。「フリードリンク」は、弥生台自治会で 3,500 円負担したが、今年はずっと上回ってしまうのではないか。

第 3 班：

前回同様「フランクフルト」と「フリードリンク」だけで良いのではないか。焼きそばや豚汁はやめた方が良い。「射的」は残した方が良い。手作りの遊びや昔の遊びも普段体験できない事なので良いのでは。盆踊りは無くても良い。

第4班：

飲食は、「フランクフルト」と「フリードリンク」のほか、「焼きそば」もやっても良いのでは。綿あめの機械があると聞いたことがあるので、それができれば。魚釣りを手作りだという事だが、コーナーを増やし過ぎると大変になるのでは。昔遊びは、子ども達も楽しんでいたので毎年の恒例として定着してやっていけたらと思う。運営する人達もベテランの方々なので、力を発揮できる場として良い。紙飛行機トーナメント戦は場所を取るのでは難しいのでは。歌声喫茶は毎月やっているの、あえてやらなくても良い。高齢の方もいるので座って話ができるスペースがあると良い。

事務局：ありがとうございます。防災訓練で、AEDと応急救護はやる方向で良いか。

煙体験はどこでやるか。会場のレイアウトを含めて、再度話し合いをお願いします。

○小さい子どもにAEDや応急救護訓練をやって分かるのか。

井上さん(市防災防犯課)小学生ぐらいの子どもも、実際にAED訓練を行っている。

AEDの操作自体は案内指示のもと行うので問題はないが、それに伴う人工呼吸などで実際はかなり力が必要で、ろっ骨が折れても仕方がないくらい大人の力で気合を入れてやらないと心臓マッサージはできない。小学生も感覚として、救護とか安全なところに運ぶ、近所に助けを求めるなどが分かっていたら助かる事もたくさんあり、AEDの訓練も意味がある。訓練場所は屋外屋内どこでもできる。

第1班：

AEDは受付近くの場所に配置すれば視界にも入るし良いのでは。射的や輪投げは物が飛ぶので、端でできれば良いと思う。談話コーナーに飲食を設けるか。

第2班：

レイアウトは去年と同じで良い。歌声喫茶は談話コーナーにする。応急救護体験は駐車場の方が広くスペースも取れるし準備も簡単にできるのでは。AEDは談話コーナーでできる。

第3班：

昨年はスムーズだったので同様に良い。昔遊びコーナーは長テーブルではなく丸テーブルの方が、もっと和気あいあいとできたのではないか。

第4班：

入口付近に輪投げと射的、談話コーナーは奥に配置する。

○入り口付近に遊びコーナーを持って来るのは防災上どうなのか。

○可能であればテラスの方は使えないか。

○談話コーナーに椅子を並べる前にAED体験を行ない、体験終了後に談話コーナーを設営してはどうか。

○二時間という限られた時間内で、時間を区切って転換するのは厳しいのではないか。

○防災訓練を自由にするのか、スタンプに入れるか。

○防災訓練を行っている際、他のコーナーも同時進行で行なうのか、それともプログラムの一つとして、この時間からは防災訓練やりますという様に全員参加型にするのか。

○輪投げや射的の様に、防災も一つのブースとして他と同時進行でやれば良いと思う。

その方が参加する側も気軽に参加できるのではないか。

事務局：レイアウトは大きく分けて二つ。昨年通りか、輪投げ・射的を入口付近で AED 体験や談話コーナーを奥に配置するかどうか。煙体験はどうするか。

○秋まつりとしてはまだ 2 回目だから、前回同様ではなく変えてみても良い。やってみる価値はある。もしかしたら去年よりも良いかもしれない。やってみなければわからない。

○煙体験はやるなら駐車場か。

○チラシに煙体験の時間帯を記載すれば、それ目当てで来てくれるかもしれない。

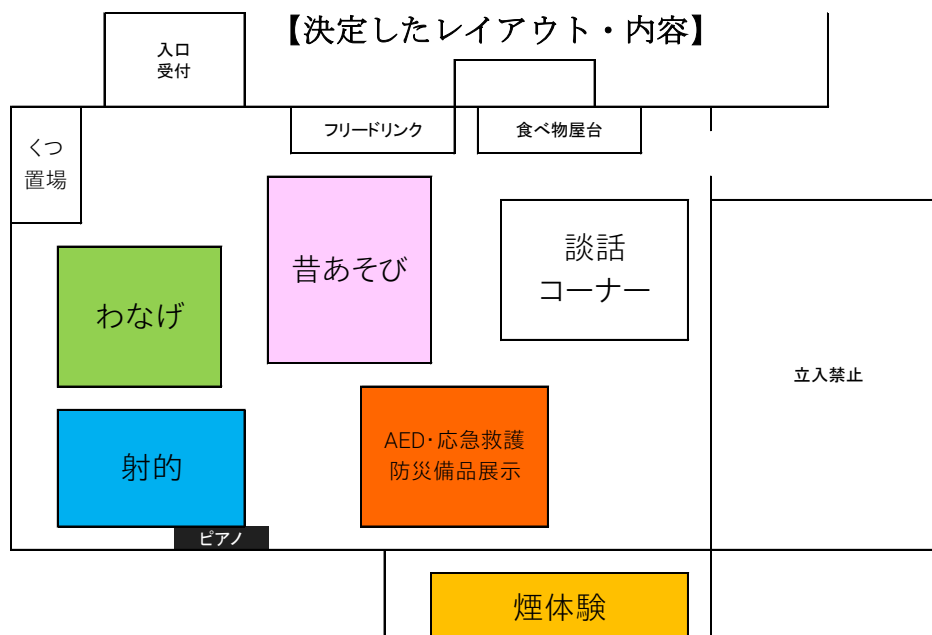
○煙体験を分けるか一緒にやるか。準備や撤収の都合もあるかもしれない。

井上さん（市防災防犯課）：煙体験は、二時間通してやるのはそんなに不思議な事ではなく、また他のイベントと一緒にやるのもそんなに不思議なことではなく、ご提案のあった他のプログラムと同時進行で端の方でやることは難しい事ではない。設営や撤収は、消防署が行うので、あまり心配いただくことは無い。イベントと訓練の時間を分けて行くと、どうしても帰ってしまう人達も出てくる。訓練は、どんなに面白おかしく伝えても訓練は訓練。訓練が好きという人はあまりいない。皆さんが集まる機会に、同時に訓練を行う方が参加者は多い。

余談だが、今後も弥生地区でお祭りが続き、一緒に AED や訓練を行う場合の意義、この集まりでこの訓練をやることで皆さんに何を訴えたいか。そもそもこのお祭りの目的は、つながりをつくることだと伺いました。災害時も同じ運命共同体で動くことになるので、災害時の弥生地区のことについて考えませんか？といった働きかけがそこであると、ここでの体験に付加価値がつくのではないか。

○意識を根付かせるということですね。

井上さん（市防災防犯課）：そうです。「小学生の人も高齢の人も一緒に訓練を行うことに意味がある」というメッセージをイベントの中で出していく。老若男女問わず、年に一度は地区の皆で集まってやるものと思えるようになったら価値が出てくる。小学生は、学校などで AED 訓練をやる機会がある。そうだとすると、弥生地区の皆でやることに意義がある。それはなぜか。その答えを何らかのメッセージとして伝えられると良い。



②役割分担

事務局：次第裏面「役割分担」(例)について。今回2回目ということで、前回は設定していなかった役割がある。前回は広報や会計なども社協が担ったが、今回は皆の主体的な取り組みとして3つの役割(「取りまとめ」、「広報」、「会計」)を決めていただきたい。ひとつの担当を複数人で担うのでも良い。また、広報費は、社協でチラシを内部印刷したため、決算報告に印刷代の計上がないが、本来はこの費用をどうするかも検討しなければならない。弥生地区に根づくイベントにしていく為には、いずれも避けては通れない。3つの役割は、事務局も一緒にできればと思う。

○広報は何をやるのか。

事務局：昨年のチラシデータはありますが、掲載する情報やどういうところに配ったら良いのかなどを検討する人です。

○まずは当日の役割である「受付・案内」などから決めてはどうか。いきなり「取りまとめ」からではなかなか決まらないと思う。

事務局：3つの役割については、今回時間の都合もあり、皆さまにお声かけさせていただきます。その他の役割は次回の話し合いで決めていきます。

山口信夫さん：何もわからないが「取りまとめ」を自分がやります。

事務局：ありがとうございます。山口さんお願いします。ぜひ皆さまも一緒にやってみましょう。

(2) 災害時に配慮が必要な方への支援訓練

事務局：地域の取り組みアイデアとして資料をお配りした。話し合いをしたかったが今回は時間が無いため、資料の説明のみさせていただきたい。

井上さん(市防災防犯課)：『まちを歩いて防災マップを作ろう!!』をご覧ください。弥生地区では、新青梅街道を横断して第九小学校に避難するか否か、小平に逃げて良いのか悪いのかなど、防災上の色々な課題が出てきている。それを平面的に把握するのに一番分かりやすいのは、地域の地図を作ること。

地域の地図はもともとたくさんあるが、防災という観点で地域の地図を作ってみると、実は分かっているようで分かっていなかったことなどが見えてくる。マップの作り方が記載されているが、実際に地図を準備して、町内を歩いてみて、意見交換をして、防災マップをつくるという一つのイベントとして様々な地域で取り組みがされています。

○小学校でつくった記憶がある。

井上さん(市防災防犯課)：今でも「地域の安全安心マップ作り」を都内の小学校で行っています。これは主に不審者や、登下校の安全安心という観点で作られているが、学校によっては防災的な観点も入れて取り組んでいる。

やってみると結構面白くて、実際に歩いてみて、危ない場所を考えるきっかけになる。ちなみにヒントを申し上げると、googleマップを観ながら、弥生地区で一番気になってくるのが火災と避難するルートのこと。以前に地区周辺を歩きましたが、南北に行けば必ずしも抜けられる訳ではなくややこしい。通り沿いに家が建っている場合、地震や火災でその家が倒壊したら、その道は通れなくなる。ただでさえ道

が複雑なのに、1つの道が通れなかったら、どのルートで避難をするのかが困るといことです。

また、小平市が隣接なので、この機会に見てまわるのも面白いのではないか。地図に盛り込む情報も、施設等だけではなく、例えば近所のお店の近くに水が出る水道があるなど、地元でしかわからない情報を地図の中に入れて地区の防災マップをつくってみる。他の自治会では印刷して配布をしたり、大きくして貼ってあるところもある。避難時に何らかの支援が必要な方の為にも、意義のある取り組みである。秋まつりでできるかは分からないが、一つのきっかけになれば良い。

事務局：具体的に自治会や避難所運営連絡会で作成しているところはあるか。

井上さん（市防災防犯課）：有名なのが第二小学校で結構大きなお金をかけて数年前に大きな地図を作成。自治会では手書きのものもあれば、前沢四丁目自治会では毎年カラーで立派なものを作成している。弥生地区でもつくろうと思えばつくることができる。地図にして共有し合えれば良い。

事務局：なお「防災マップづくり」は、今年皆さまから出された取り組みアイデアのひとつです。「街角防災訓練」はどのようなものか。

井上さん（市防災防犯課）：消防署に変わりお伝えします。先日の AED 体験や秋まつりでの訓練も立派な街角訓練と言える。自治会や地域の集まり 5、6 人でも手が空いていれば動いているので、AED や煙体験など地域の集まりで訓練など行う際には、消防署にも声をかけてもらえれば。市は消防署の情報を得ているので一緒に伺って備蓄の事や物資の支援の話などを一緒にできればと思う。

事務局：ありがとうございます。最後に明日さんお願いします。

明日さん（市福祉総務課）：本日はいろいろとご意見出していただき、2回目になるお祭りは昨年よりも活気のあるものとなるのではと思います。昨年の8月は参加者が少なかったですが、今年はこれだけの人数が集まって一緒にできるということは、相当この会が進んでいるのではとしみじみ感じています。またいろいろ皆さまを巻き込むかたちとなり大変かと思いますが、よろしくお願いします。

事務局：ありがとうございます。以上で終了となります。入口付近にご自由にお持ち帰りいただける資料があります。ゴミの分別やカレンダーを一部編集した資料もありますので、お困りの方にお渡しいただければと思います。次回は10月20日（日）午前10時から開催です。よろしくお願いします。

以上

**弥生地区「住みよいまちづくり」に向けた集い
令和元年度 第3回定例会（第15回）出席者アンケート**

- ・日 時 令和元年8月18日（日）午前10時～正午
- ・場 所 多摩の里けやき園 地域交流スペース
- ・参加者数 19人（他 関係者4人、社協3人）
- ・回 答 数 8件（42%）

1. 本日の感想をご記入ください。

- 火の用心。
- 防災マップを自治会役員会で作成してみたいと思います。
- 「住みよいまちづくり」の内容がわかりました。
- 秋まつりに向けて具体的に決まっていたので良かったです。地域の男性の出席者が増えてきたので、ぜひ中心になって役割を担って主体的な活動を期待したい。
- 意見のある方がたくさんいて、その方々の声が聞けて、良かったです。
- なかなか一つの話題で時間がかかり先に進めない。
- 発言が多くなりよいが、時間が足りない。
- 色々意見が出て、参考になった。

2. 弥生地区で、みんなで力を合わせてできそうなこと、やってみたいことは何ですか。思いつくものがありましたらご記入ください。

- 夜まわり。
- 高齢者が参加しやすいことを考えたいと思います。
- 避難訓練は、弥生地区としてやってみたい。

3. 本日の定例会は、何を見て知りましたか？ あてはまる全てに○をつけてください。

- | | |
|----------------|----|
| ア 当会からの案内文（郵送） | 8人 |
| イ 自治会の回覧やお知らせ | 0人 |
| ウ 近所の人から聞いた | 0人 |
| エ その他 | 0人 |

4. 定例会の案内文（郵送）を希望する方は、下記にご記入ください。

- | | |
|------------------------|-----------|
| ① 開催案内を希望する | 0人 |
| ② 参加はできないが、できることは協力したい | 2人（弥生1丁目） |
| ③ 興味がない | 0人 |

5. 現在気になっていること、困っていること、解決したいこと、定例会で話し合いたいこと、地域福祉コーディネーターへの要望等がありましたらご記入ください。
特になし。

6. 年齢性別など よろしければご記入ください。

- | | |
|--|-----------|
| <input type="radio"/> 弥生台自治会（弥生1丁目） | 男性1人、女性3人 |
| <input type="radio"/> 柳自治会（弥生2丁目） | 男性1人 |
| <input type="radio"/> 東久留米弥生自治会（弥生1丁目） | 女性1人 |
| <input type="radio"/> 未加入（弥生1丁目） | 女性1人 |
| <input type="radio"/> 不明（弥生1丁目） | 男性1人 |

以上